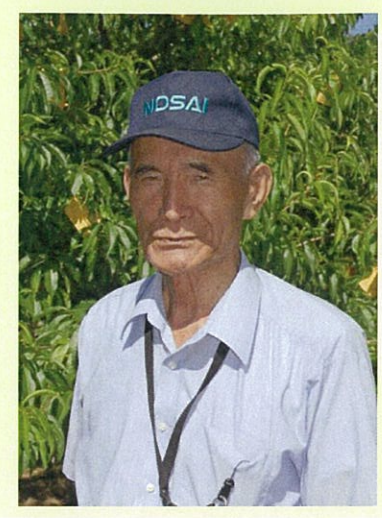


現地レポート
岡山県赤磐市

甘い桃をつくるため必要不可欠！ 千代田化成



サンアグロ
SUN AGRO CO., LTD



浅井常雄さんは、永年桃を栽培されており、現在は「山陽青空市桃の里店」の会長を勤められています。桃に千代田化成を使う理由や、使い方のポイントを教えていただきました。

甘い桃を作るため

甘い桃を作るには、日当たりが良いことと、肥料の効き方が重要です。「7年前から千代田化成を使うようになりました。以前、スイカを栽培していた時も千代田化成を使っていたので、肥料を変えることに抵抗はありませんでした。」
「ただ、千代田化成を使い始めても、すぐには糖度は上がらなかったそうです。」
「3年間は以前使っていた肥料が土壌中に残っていたため、糖度が上がらなかったのだと思います。」



真夏の桃園

桃の品質は『糖度』で決まる

桃の品質で最も重要なのは、大きさや形ではなく『糖度』です。特に最近では、光センサーで糖度を測定し、その値によって等級分けされるため、糖度の重要性が以前よりも増しました。
「最上級クラスの『ロイヤル（糖度12度以上）』を作るために、千代田化成を使っています。千代田化成を使うようになってから、糖度が15〜16度になったこともあり、桃部会の品評会で最優秀賞を貰ったこともあります。」
「浅井さんの桃は、贈答用としても引っぱりだこだそうです。」



太陽をたくさん浴びて、今年も甘く育ちました

肥料は『千代田化成』

浅井さんは、千代田化成を元肥に反当10キロ、礼肥に反当40キロ、全層施肥しています。「千代田化成は、特に礼肥としての効果が高いため、収穫後すぐに施用します。遅くとも9月中には施用を終えることが重要です。」
「施用された千代田化成は1週間で効き始め、30日くらいで全て吸収されるそうです。」
「この効き方が桃の栽培に適しているんです。」



収穫を待つだけです



県外からもお客様が来られます

「肥料成分が素早く吸収され、同化されるため樹勢が落ち着き、徒長枝が伸びないことが千代田化成の特長です。他の肥料ではこうはいきません。」
「また、糖度を上げるためにリン酸肥料を施用することがありますが、千代田化成を使うとその必要がありません。」
「千代田化成は、リン酸も良く効く肥料だと思います。だから、糖度も上がるんです。」

千代田化成に絶対の自信

浅井さんは、『千代田化成を使うと糖度が上がる！』という絶対的な自信を持っておられます。「そのため、他の生産者の方々にも、『肥料は千代田化成一本でいこう。』と指導されています。」
「千代田化成は良い肥料なのに、宣伝が足りない！」と、我々もお叱りの言葉をお聞きしました。
「すでに多くの皆様に千代田化成を愛用頂いておりますが、今後も益々、千代田化成ファンを増やしていけるよう、努力していきたいと思っています。」
「浅井さん、ご協力ありがとうございます。」



編集後記
「清水白桃」発祥の地で、品質向上のために千代田化成が使われています。高品質の桃を作ろうと努力されている生産者の皆さんには、本当に頭が下がる思いです。やはり日本の農産物は、世界中のどの国よりも品質重視なんだと、再認識させられた取材でした。